

# 辻堂歴史物語

## 平家の落人伝説から江戸期までを

さくらいゆたか

## 郷土歴史家 櫻井 豊 氏に講演頂きます

辻堂には、「鎌倉時代の建久年間（1190）に西国の平家の落人 17 名が最初にこの地に住み着いて開拓農民となった」という 17 氏族の伝承があります。

辻堂は大庭御厨みくりやの一部で、鎌倉幕府が駅路の法を定め京都と鎌倉を結ぶ鎌倉街道が八松ヶ原を通ったため街道沿いに集落が広がっていきました。

後北条時代は北条氏の善政で平穏な時代でありましたが、豊臣秀吉により北条氏は滅ぼされ徳川家の直轄地になりました。

江戸時代の辻堂は、藤沢宿の助郷役を務めました。集落は四つ角を中心に 17 氏族が主体となって拡大していきましたが、上田、上畑は少なく米の収穫は少なかったのです。



さくらい ゆたか  
櫻井 豊 氏

昭和 12 年生 辻堂元町在住  
平成 25 年「辻堂歴史物語」出版、  
辻堂市民図書館、JA さがみ、  
みずほ銀行辻堂支店で講演

日 時 2019 年 2 月 16 日（土） ※入場無料

10:00 ~12:00（開場 9:30） ※定員 100 人

場 所 辻堂市民センターホール（当日・先着順）

藤沢市辻堂東海岸 1 丁目 1 番 4 1 号 ※駐車場はありません。

主 催 辻堂まちづくり会議

問合せ 辻堂市民センター 0466（34）8661

8:30~17:00（土・日・休日並びに 12:00~13:00 を除く）